

【議 題 3】

令和元年度支部保険者機能強化予算にかかる取組の
実施状況について（主な取組）

◆ 支部保険者機能強化予算の検討に係る今後の取扱いについて

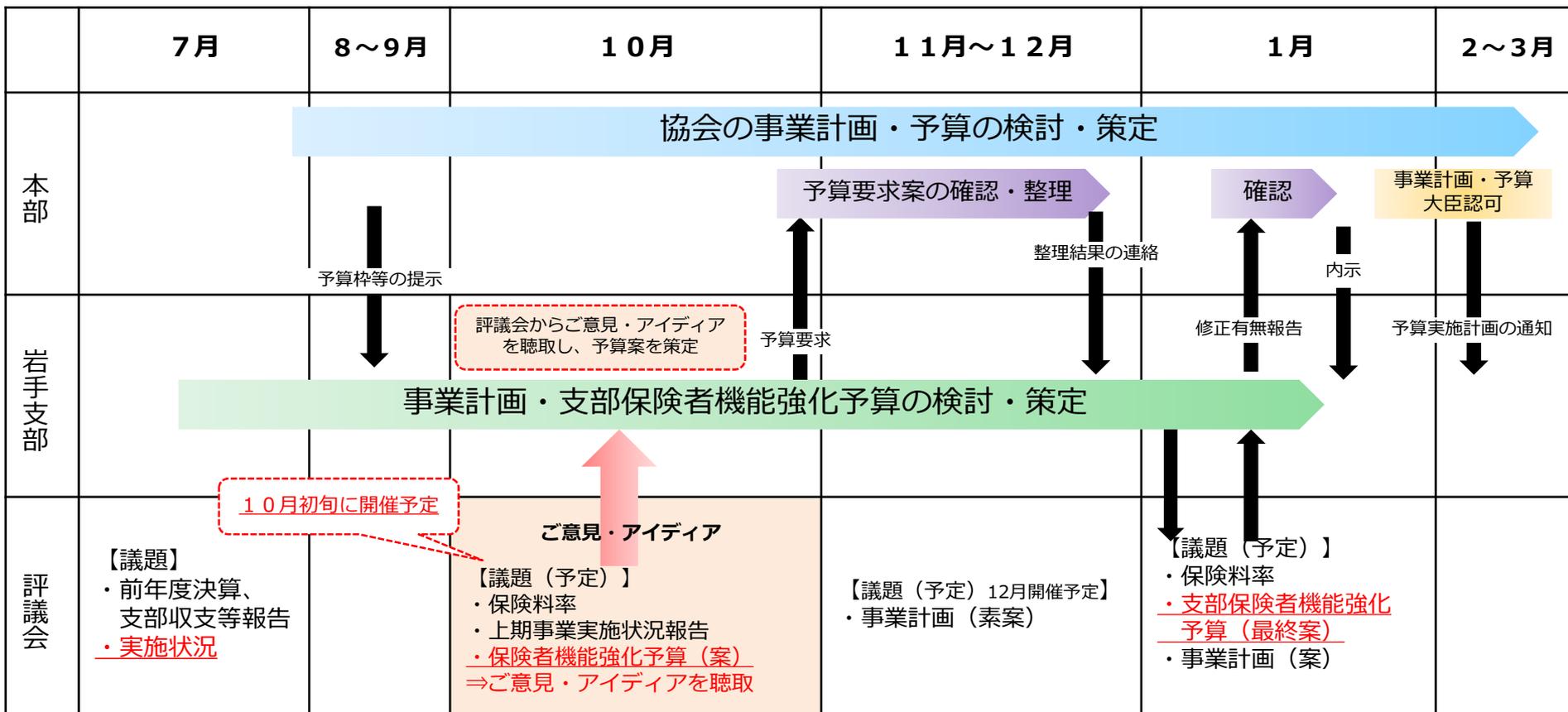
支部保険者機能強化予算とは

中長期的な財政運営という観点を踏まえ、協会の将来的な医療費の適正化につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組を実施する場合に計上する予算。従って、健康保険委員研修にかかる経費やレセプト点検にかかる経費、健康保険業務に使用する返信用封筒の作成経費など、通常業務にかかる経費の範囲内で対応すべきものなどについては、支部保険者機能強化予算の対象外となる。

支部保険者機能強化予算の検討について

支部保険者機能強化予算の検討は、翌年度の岩手支部の保険者機能発揮に直接かかわる重要な事項となる。コラボヘルスを始め、事業主や加入者の皆さまの行動変容をどのように促していくかについて、職員だけで検討するのではなく、事業主や加入者の意見を反映させた事業としていくため、評議員の皆様からご意見やアイデアをお伺いしたいと考えております。

今後のスケジュール



1. <取組名>健康保険委員委嘱勧奨業務の外部委託

◆予算区分…支部医療費適正化等予算

◆分野…医療費適正化対策経費

◆区分…業務部門

実施内容	健康保険委員の委嘱数拡大を図るため、健康保険委員の勧奨業務（電話勧奨等）を外部業者に委託。支部にて勧奨文書を対象の1,600事業所に送付し、その後、外部委託業者より電話勧奨を実施。
実施時期	6月～7月
実績	<ul style="list-style-type: none">・文書送付および電話勧奨：1,600事業所・総架電数：2,897件（1事業所当たり約1.8回の架電）・新規委嘱獲得件数：163事業所（10.2%）
実施後の評価	<ul style="list-style-type: none">・特段のトラブル、クレームもなく、円滑に事業を実施することができた。・獲得件数については、全体の10.2%であり、外部業者のノウハウを活用した効果的な勧奨を実施できたと推察される。また、翌年度も健康保険委員の効率的な委嘱拡大が必要であるため、事業の継続が必要であると判断される。
翌年度に向けた課題と改善点	<ul style="list-style-type: none">・委嘱拒否の理由の中で、「仕事を増やしたくない」や、「健康保険委員を必要と感じていない」といった意見が散見されたため、そのような負のイメージを払拭するための広報やトークスクリプトの見直しをすることとした。・健康保険委員の委嘱に関する分析を行い、業種や事業所規模等の総合的な視点から勧奨計画を策定することが必須である。
予算額	810,000円
執行額	847,800円（予算不足分37,800円については、支部広報経費(その他)より調整）
執行率	104.7%

2. <取組名>「健康経営」推進等に関する新聞広告の掲載

◆予算区分…支部医療費適正化等予算

◆分 野…広報・意見発信経費

◆区 分…その他広報

実施内容	スポーツイベント等の周知広告や、特集企画広告等において、岩手支部の広告を掲載することにより、協会けんぽの認知度の向上を図り、また、いわて健康経営アワード受賞事業所の紹介記事を掲載することにより、県内の加入者、事業所に健康経営の広がりを図るもの。
実施時期	5月～3月
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手日報の「日報駅伝」特集における健康経営広告の掲載…令和元年11月22日掲載 ・岩手日報社の企画「新春トップインタビュー」における支部長インタビューの掲載…令和2年1月1日掲載 ・岩手日報社の企画「成人の日名刺広告」における支部長メッセージの掲載…令和2年1月13日掲載 ・岩手日報社の企画「いわて県民健康応援キャンペーン」における健康経営に関する広告掲載…年9回掲載 ・岩手県主催の「いわて健康経営アワード」受賞事業所の取り組み紹介広告記事の掲載…令和2年1月17日、18日、19日の計3回掲載
実施後の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・県内シェアの約5割を占める岩手日報への掲載を行ったことは、県民の協会けんぽの認知度を向上させる上で効果的であったと思われる。 ・健康経営アワード受賞事業所の取り組み紹介記事については、健康経営の考え方を広く県民に周知し、優れた取り組みを横展開することのできる、絶好の機会であった。
翌年度に向けた課題と改善点	協会けんぽの認知度の向上や健康経営の考え方の周知をより効果的に進めるため、広告の内容をより訴求力の高いものとする。
予算額	3,293,400円
執行額	3,260,400円
執行率	99.0%

3. <取組名>健康づくりセミナーの開催

◆予算区分…支部医療費適正化等予算

◆分野…広報・意見発信経費

◆区分…その他広報

実施内容	喫煙による健康に対する悪影響は数多く報告されており、また、岩手県は喫煙率が高い傾向にあるため、喫煙者対策をテーマとした講演を行った。また、併せて、昨年度のセミナー参加者より多く要望をいただいた「メンタルヘルス」をテーマとした講演を行った。この講演により、職場や家庭における心と体の健康づくりの推進を図る。
実施時期	令和元年10月2日
実績	【講演内容】 ・『タバコ・喫煙者対策を成功させる方法』 ・『みんなで守る心の健康 メンタル不調の予防と早期発見』 【参加人数】 ・121名 ※岩手産業保健総合支援センターとの共催
実施後の評価	・アンケートの結果によると、「大変参考になった」、「参考になった」と回答した方の割合が、『タバコ・喫煙者対策を成功させる方法』については79%、『メンタル不調の予防と早期発見』については85%と、どちらも高い割合となった。 ・参加人数については、昨年度を下回り、課題が残った。
翌年度に向けた課題と改善点	(※令和2年度の開催はなし。)
予算額	758,000円
執行額	560,534円
執行率	73.9%

4. <取組名>岩手日報社と連携した健康川柳コンクールの実施

◆予算区分…支部医療費適正化等予算

◆分野…広報・意見発信経費

◆区分…その他広報

実施内容	「健康」をテーマとし、岩手県民へ川柳を募集し、入賞作品は健康保険委員による審査で決定。 また、入賞作品に関しては、令和元年10月6日（日）に開催された岩手日報社主催の「いわて健康ウォーク」の会場内で展示した。募集については新聞広告、協賛スーパーの店内や県内年金事務所内へのポスター掲示、メールマガジンや各種広報紙に掲載するなどした。
実施時期	【川柳募集】…令和元年6月～ 【受賞作品決定、発表】…令和元年10月
実績	平成30年度の応募総数277作品を上回る、307作品の応募 ポスター掲示、チラシ設置等：協賛の県内スーパー約20店舗、県内5年金事務所、支部窓口
実施後の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度を上回る作品の応募があったことにより、加入者や岩手県民の健康に対する意識の向上や、協会けんぽが身近な存在になってきている表れであると推測される。 ・入賞作品の審査による健康保険委員の活動強化や、協賛企業や地元新聞社との連携強化にもつながったため、翌年度も継続して実施することとした。
翌年度に向けた課題と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・応募しやすいかつ健康を意識してもらえよう、効果的なチラシ、ポスターの作成を行うとともに、各広報紙にも積極的に掲載を実施する。 ・メールマガジンの登録機会の創出のため、応募用紙欄にメールアドレス記入欄を継続して設ける等、協会けんぽの広報強化としての側面も果たせるように実施していくことも必要である。
予算額	285,228円
執行額	243,000円
執行率	85.2%

5. <取組名>WEBサイトを活用した特定健診等の広報による受診率および加入者理解率の向上

◆予算区分…支部医療費適正化等予算

◆分野…広報・意見発信経費

◆区分…その他広報

実施内容	Yahoo!JAPAN及びGoogleが運営する情報WEBサイト及びその提携サイトにおいて、特定健診にかかる画像広告「Yahoo!ディスプレイネットワーク」・「Googleディスプレイネットワーク」を特定の対象者（岩手県内居住者、40歳以上女性）に向けて配信し、当支部ホームページ内の特定健診制度、各市町村の集団健診日程、健診料金等を掲載したページへ誘導。健診受診率および加入者理解率の向上を期待し、周知広報を実施した。
実施時期	5月～6月
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・画像広告表示回数及びクリック回数 5月 1,264,774回 クリック数：9,405回（クリック率0.74%） 6月 153,869回 クリック数：1,214回（クリック率0.79%） ※目標を1万回クリックとしていたため、6月は月途中で配信停止
実施後の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率向上を目的としていたため、市町村の集団健診開始時期に合わせ画像広告を配信。健診受診者数は、前年同月と比べ5月：81人増加、6月：340人増加という結果であり、一定の効果はあったものと推測される。 ・紙媒体による広報に比べ、大多数の人へ広報が可能であり（安価であり）、実際にホームページへ誘導した人数を把握できる等、従来の紙媒体による広報より費用対効果が高いと判断したため、翌年度も実施することとした
翌年度に向けた課題と改善点	<p>リスティング広告の結果から、「協会けんぽ」の認知度が低い※ことがうかがえたことから翌年度は認知度向上を目的とした画像広告を配信することにした。また、想定よりもクリック率が高かったことから、認知を図りたい世代、性別に対象を絞り、広告を配信することとした。</p> <p>※「健診」を検索する際に、「協会けんぽ」というワードがほとんど検索されていないことが判明したため、認知度が低いと判断</p>
予算額	864,000円
執行額	692,695円
執行率	80.2%

6. <取組名>フリーペーパー等を活用した特定健診制度の周知

◆予算区分…支部医療費適正化等予算

◆分野…広報・意見発信経費

◆区分…その他広報

実施内容	令和2年度の特定健診受診券一斉発送直前に、テレビCM・WEB・新聞等、幅広いメディア（SNSを除く）を活用し、特定健診制度について広く加入者に周知を図る。
実施時期	3月中旬～3月末日
実績	3月上旬に、テレビCMの撮影等を行い、3月中旬から放映する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、医師会等を相談のうえ、放映中止とした。
実施後の評価	—
翌年度に向けた課題と改善点	(翌年度実施なし)
予算額	982,800円
執行額	275,000円
執行率	28.0%

7. <取組名>協会主催の集団健診の実施

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…健診及び保健指導に係る事務

◆区分…集団健診

実施内容	<p>①集団健診を実施していない盛岡市・滝沢市在住の被扶養者のうち、過去2年間未受診者に対し、11/29にイオンモール盛岡において、オプション健診及び特定保健指導（初回面談）を含めた「まちかど健診」を実施した。 【実施結果】案内対象者：5,246名、受診者：51名（受診率1.0%）、特保対象者：9名、初回面談実施者：1名</p> <p>②受診率の低い地域である19市町に在住の被扶養者に対し、オプション健診及び特定保健指導（初回面談）を含めた協会主催の「集団健診」を、1月中旬～2月下旬にかけて、11地域・16会場で実施した。 【実施結果】案内対象者：28,911名、受診者：470名（受診率1.6%）、特保対象者：18名、初回面談実施者：7名</p>
実施時期	11月下旬～2月下旬
実績	<p>①「まちかど健診」（1回開催） ・案内対象者：5,246名</p> <p>②「協会主催の集団健診」（11地域・16会場で開催） ・案内対象者：28,911名</p>
実施後の評価	受診率の低い地域を対象としていたため、受診率が1%程度と低い結果となったが、昨年度と比べ受診者が約80件増えたこと、及び、特定保健指導の初回面談を8名実施できたことから、一定程度の効果はあったと判断する。
翌年度に向けた課題と改善点	<p>・「まちかど健診」について、令和2年度は、過去2年間未受診という条件を無くし、より多くの対象者へ案内を実施する。</p> <p>・また、集団健診の開催日程については、対象者の多い盛岡市等での開催日数の増加や、同会場で2日間連続で実施するなど、更に受診しやすい環境を提供できるよう検討する。</p>
予算額	2,150,900円
執行額	1,350,800円
執行率	62.8%

8. <取組名>事業者健診データ提供勧奨に係る取り組み

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…健診及び保健指導に係る事務

◆区分…事業者健診の結果データの取得

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同意書及び事業者健診結果データの提出勧奨のため、8月下旬に労働局との連名勧奨文書を1,451事業所へ発送し、発送後、概ね10営業日後に、委託業者から事業所へ電話勧奨を実施。 ・また、取得した紙媒体の事業者健診結果については、電子データ化の上、岩手支部へ納品。 <p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同意書取得数：258件 ・事業者健診結果データ取得数：2,653件 ・電子データ化件数：2,653件
実施時期	8月～3月
実績	<p>①平成29年度生活習慣病予防健診受診率60%以下でかつ事業者健診結果データの提出がない事業所。 ②平成28～30年度に紙媒体で健診結果データの取得があった事業所。 >上記①（1,271事業所）及び②（180事業所）の事業所に対し、労働局連名勧奨文書発送後、概ね10営業日後、5回を上限として電話勧奨を実施。また、取得した紙媒体の事業者健診結果2,653件を電子データ化実施。</p>
実施後の評価	<p>事業者健診結果データ取得目標5,000件に対する達成率は53%、同意書取得については目標300件に対する達成率は86%に上っている。また、多くの事業所に対し、制度の周知やデータ提供への理解が得られたものと考えられるため、一定の効果はあったと推測される。</p>
翌年度に向けた課題と改善点	<p>過去に同意書を提出し、データ提供がされていない事業所を抽出するなどして、データの取得もれを防ぐ。</p>
予算額	9,172,400円
執行額	4,358,182円
執行率	47.5%

9. <取組名>弁護士との連名による事業者健診結果データ取得に係る取り組み

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…健診及び保健指導に係る事務

◆区分…事業者健診の結果データの取得

実施内容	<p>岩手支部と生活習慣病予防健診実施機関委託契約を締結している健診機関のうち、多数の健診対象者がいるにも関わらず、協会システムに健診結果データの登録がされていない12機関に対して、岩手支部長と岩手労働局安全課長との連名依頼文書に併せて、弁護士名を用いた法的根拠を示した依頼文書を送付し、事業者健診結果データ提出勧奨を実施した。</p> <p>【実施結果】 12機関中6機関より1,176件のデータ提供があった。</p>
実施時期	9月
実績	<p>岩手支部と生活習慣病予防健診実施機関委託契約を締結している健診機関のうち、従業員の健診結果データが登録されていない健診機関12機関に対し、9月初旬に文書送付。</p>
実施後の評価	12機関中、6機関より目標（1,000件以上）を超える1,176件のデータ提供があった。
翌年度に向けた課題と改善点	(翌年度実施なし)
予算額	216,000円
執行額	54,000円
執行率	25.0%

10. <取組名>事業者健診データ入力委託

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…健診及び保健指導に係る事務

◆区分…事業者健診の結果データの取得

実施内容	事業所から直接岩手支部に提出された紙媒体の事業者健診結果データについて、パンチ委託業者へ回送し、委託業者により電子データ化の上、CDにて岩手支部へ納品。保健事業システムへ取り込みを行った。 【パンチ委託回数：3回（合計372件）】
実施時期	通年
実績	岩手支部で受け付けた紙媒体のデータ入力委託（委託回数：3回、データ件数：372件）
実施後の評価	「事業者健診データ提供勧奨に係る取り組み」において、外部委託業者へ電話取得勧奨と同時に、取得した紙媒体の電子データ化までを委託したため、岩手支部への事業者健診結果の提出が少なく、パンチ委託件数が減少した。
翌年度に向けた課題と改善点	（翌年度実施なし）
予算額	1,620,000円
執行額	229,204円
執行率	14.1%

1 1. <取組名>加入事業所等に対する翌年度の健診受診勧奨

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…健診及び保健指導に係る事務

◆区分…健診受診勧奨等経費

実施内容	加入事業所や特定健診対象者等に対し、対象者氏名印字済みの健診対象者一覧及び受診券送付の際に、健診案内や実施機関一覧表等の支部独自のリーフレット等を作成、同封することにより、受診率の向上を図った。
実施時期	3月
実績	生活習慣病予防健診（約17,000事業所、及び任継約2,000名）、及び特定健診（約46,000名）に係る受診勧奨を郵送にて実施
実施後の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる健診の停止等があったものの、習慣病健診の4月実施数は前年の9割は維持できており、一定の効果はあったものと推測される。 ・習慣病健診申込書の廃止等の制度変更があったものの、問い合わせ等も少なくスムーズに移行できた。これは当広報により、制度変更も含めて健診制度自体に対する加入者の理解が得られたものと考えられ、結果として受診率の向上にも寄与できたものと推測される。
翌年度に向けた課題と改善点	今年度より任意継続加入者用リーフレットが廃止された事に伴い、同加入者への説明に至らない点があったため、来年度の実施時には改善のうえで実施したい。
予算額	2,289,100円
執行額	1,156,624円
執行率	50.5%

1 2. <取組名>被扶養者の特定健診の受診勧奨

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…健診及び保健指導に係る事務

◆区分…健診受診勧奨等経費

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新規加入者へ健診案内等を毎月月末に発送し、健診制度をタイムリーに周知した。 ・被扶養者に対しては、受診券とともに、各市町村で実施される集団健診の開催時期を記載した「市町村別特定健診・がん検診実施予定」のチラシを同封することにより、加入者の利便性向上を図った。 ・なお、事務の効率化を図るため、封入封緘から発送までの作業を、外部業者へ委託した。
実施時期	4月～12月
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新規加入の被扶養者へ受診券発送。【発送総数】7,392件 ・新規任継加入者へ健診案内発送。【発送総数】1,444件
実施後の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診件数が前年度より1,170件増加していることから、一定の効果はあったと推測される。 ・これまで職員が行っていた封入封緘から発送までの作業を委託したことにより、事務負担の軽減につながり、保健事業を推進するための他の事業に携わることができた。
翌年度に向けた課題と改善点	令和2年度については、被扶養者と任継加入者に加えて、新適事業所への健診案内発送も委託する。
予算額	928,146円
執行額	739,928円
執行率	79.7%

1 3. <取組名>加入事業所に対する生活習慣病予防健診の優位性のアピール

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…健診及び保健指導に係る事務

◆区分…健診受診勧奨等経費

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防健診を利用した事のない事業所の場合、より読み手の側に立った、読みやすいチラシの提供を行う事が必要であると考え、比較的手に取って読んでもらいやすい「漫画」というコンテンツを使用した「生活習慣病予防健診の優位性アピールチラシ」を作製し、令和2年度生活習慣病予防健診の年次案内時に同封した。 また、生活習慣病予防健診委託健診機関の過疎地域の事業所に対し、集合バス健診の実施予定一覧をDMで送付し、生活習慣病予防健診の受診を促した。
実施時期	3月
実績	チラシ：令和2年度生活習慣病予防健診対象者一覧を送付した約17,000事業所 集合バス健診：上記事業所のうち生活習慣病予防健診機関の過疎地域に所在する約5,500事業所
実施後の評価	コロナによる健診の停止等があったものの、習慣病健診の4月実施数は前年の9割は維持できており、一定の効果はあったものと推測される。
翌年度に向けた課題と改善点	(翌年度実施なし)
予算額	5,711,200円
執行額	1,299,240円
執行率	22.7%

1 4. <取組名>特定保健指導の利用促進

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…健診及び保健指導に係る事務

◆区分…保健指導利用勧奨経費

実施内容	特定保健指導の周知を目的として、読み手が比較的手に取って読んでもらいやすい「漫画」というコンテンツを使用したチラシを作製し、令和2年度の生活習慣病予防健診案内発送時に同封した。
実施時期	3月
実績	令和2年度生活習慣病予防健診対象者一覧を送付した約17,000事業所
実施後の評価	コロナ終息後に再開した特定保健指導案内の際にも、改めて特定保健指導について説明する事業所が減少していると感じられることから、広報による一定程度の効果があったと考えられる。
翌年度に向けた課題と改善点	(翌年度実施なし)
予算額	3,630,486円
執行額	594,000円
執行率	16.4%

15. <取組名>「いわて健康経営宣言」事業における宣言勧奨

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…その他の保健事業

◆区分…コラボヘルス事業

実施内容	「いわて健康経営宣言」への登録について、文書により338件の勧奨を行い、また、その結果、宣言がなかった265事業所に対し、外部委託業者により訪問による勧奨を行った。その結果、合計して114事業所が宣言登録を行った。また、委託業者に対しては、事前に研修を行い、宣言の勧奨のみではなく、生活習慣病予防健診や特定保健指導の利用勧奨も実施した。
実施時期	6月から8月
実績	勧奨文書発送件数…338件（宣言数26事業所）、訪問勧奨実施件数…265事業所（宣言数88事業所）
実施後の評価	文書及び訪問による宣言勧奨を行った結果、令和元年度における宣言事業所の目標数1,000を大幅に上回る1,096事業所が宣言を行った。
翌年度に向けた課題と改善点	2年度においては、宣言事業所数の目標を1,300に掲げ、宣言勧奨を実施。勧奨方法は元年度と変わらず、文書による勧奨と、文書勧奨で宣言がなかった事業所に対しては訪問による勧奨を実施予定。予定件数については文書発送件数を551件、訪問件数を300件としている。
予算額	3,661,200円
執行額	3,480,955円
執行率	95.1%

16. <取組名>宣言登録に対するインセンティブ

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…その他の保健事業

◆区分…コラボヘルス事業

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職場のチェックシートの分析結果をフィードバックするためのセミナーを、11月に2会場で開催。計18事業所、21名が参加。セミナーにおいては岩手支部職員が講師となり、職場のチェックリスト、事業所健康度診断シートの見方について説明を行った他、外部講師により「メンタルヘルス不調者の予防について」、「職場で実践できる運動について」をテーマとした講演を行った。 ・また、健康づくりに関する情報提供については、全既宣言事業所に対し、歯の健康に関するパンフレット及び運動に関するパンフレットの送付を行った。
実施時期	セミナー…11月、情報提供…6月・3月
実績	フィードバックセミナー…2回開催（計18事業所参加）、情報提供…2回実施（歯の健康、運動）
実施後の評価	フィードバックセミナーについては、参加率が前年度を大きく下回る結果となった。
翌年度に向けた課題と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックセミナーについては、いかに参加人数を増やすか、案内方法、開催時期等含め検討が必要である。 ・情報提供については、アンケートの結果をもとに、よりニーズの高い内容のものを送付することが必要である。
予算額	546,200円
執行額	328,007円
執行率	60.1%

17. <取組名>歯科健診事業

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…その他の保健事業

◆区分…その他の保健事業

実施内容	一般社団法人岩手県歯科医師会に業務委託し、会員の歯科医が事業所単位で被保険者に歯科健診を実施。実施予定数500人のところ292人に対し健診を実施した。また健診結果は、岩手県と共同で生活習慣病等との関連性を分析し、令和元年度調査研究報告書へ応募し、掲載された。分析結果を活用した加入者への広報は令和2年度中に実施する予定。
実施時期	4月～3月
実績	292人に対し健診を実施。
実施後の評価	健診受診者数は前年度より増加(+20人)しており、年度末に大規模キャンセル(2事業所:160名)が発生したため、結果的に実施予定数を下回ったが、健診結果を活用した分析を行い、加入者向けの広報を実施予定であることから、期待通りの成果が上がるものと思われる。
翌年度に向けた課題と改善点	令和元年度は、実施予定数500人に対し、年度当初に470人程度の申し込みがあり、健診実施時期が折り合わず受診をお断りするケース等もあったことから、令和2年度は実施予定数を増やし(+200人)、実施を行う予定。また、加入者へ健康づくりに関する広報を行うため、健診結果の分析は継続して実施予定。
予算額	702,000円
執行額	378,432円
執行率	53.9%

18. <取組名>職場のヘルスアップサポート

◆予算区分…支部保健事業予算

◆分野…その他の保健事業

◆区分…その他の保健事業

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの条件（①生活習慣病予防健診の利用または事業者健診結果の提供②特定保健指導の実施③いわて健康経営宣言の実施④健康保険委員・メルマガ登録）を実施した事業所に対し、健康づくりメニューを無料で提供。 ・メニューは健康講座、DVD教材の貸出、テラーメイド社内新聞発行支援。 ・利用数：59事業所1,516人（内訳：健康講座：56事業所 DVD貸出：3事業所 新聞：2事業所） ・条件の達成度：条件①③は全事業所達成。②特保対象者全員実施の事業所は0件であったが概ね対象の5割は実施。④既に登録済みを除き達成。 ・実施後アンケート結果（健康講座のみ） <ul style="list-style-type: none"> ①講師の態度（声の大きさ・身だしなみなど3項目） ②講義内容（講義時間・資料の見やすさ・説明媒体についてなど3項目） ③行動変容への意識について（2項目） で実施。全項目で90%以上は「良かった、大変良かった」と回答。
実施時期	通年（3月のみ新型コロナ感染拡大により休止）
実績	参加事業所数：59事業所（1,516人利用）
実施後の評価	特定保健指導の対象者の実施が5割程度と低く、また、特定健診の集団検診での健康講座が未実施であった。
翌年度に向けた課題と改善点	新型コロナウイルス感染予防のため、集団での健康講座中心の事業から、DVD貸出とスモールチェンジ新聞中心の事業へ見直し。
予算額	1,068,814円
執行額	260,918円
執行率	24.4%